

初期臨床研修を振り返って

【2019年3月卒初期臨床研修F】

当院での研修を行うことにした決め手は①研修医数が少ない、②内科が一通りそろっている、③雰囲気がいよことでした。

①：当院は研修医の人数が少なく、基本的には各科1名、多くても2名の研修医がローテしており、手技等で取り合いになる機会が少ないです。自分はあまり声の大きい人間ではないので、機会が回ってきやすい環境の方が合っているかと思いました。

②：自分は内科をおもに志望していましたが科に関しては決められていなく、研修中にいろいろな科をローテし考えることができるのは良いと考えました。実際に興味のある科では体験したい手技や診療など、ご指導の下いろいろと経験することができました。研修の強度を自分で考えられることも強みであるかと思います。

③：三浦半島の自然豊かな静かな土地にあり、自分のペースで研修を行うにあたり良い環境でした。先生方も優しく、とても丁寧に指導してくださり、2年間で多くのことを学ぶことができました。社会人、医師となり分からないことばかりで不安な毎日を送るにあたり、スタッフの方々も良い方が多く、雰囲気の良さに救われることが少なくありませんでした。

アクセス面ですが車があれば高速で40分ほどで横浜に出られ、横浜駅直通の高速バスも病院に止まるので自分はあまり不便だとは感じませんでした。むしろ都心からは行きにくい葉山などのお店にもアクセスしやすく楽しかったです。

また、学会発表や地方会発表も研修医の段階で経験できありがたく思っています。

一方で3次救急や一部の外科領域など、当院にない科を研修したい場合外部研修で補う必要があります。また研修医へのある種の強制的な課題などがそこまで厳しく課されるわけではないので、研修においてある程度は自分からの積極的な働きかけが必要です。

Common diseaseの診療に強くなりたい方、手技を多くしたい方、自習など自分の時間もとりながら自分のペースで研修を送りたい方にお勧めの病院です。興味がおありでしたら、一度見学していただければと思います。

【2019年3月卒初期臨床研修K】

二年間横須賀市立市民病院で初期研修を行い、多くのことを学びました。

この病院の特徴としては院内の雰囲気が職業問わずとても穏やかでアットホームであることが言えると思います。そのため、科を超えても医師同士の垣根も低く、初期研修医に対しても優しく声をかけてくださる先生が多かった印象です。初期研修医が経験するのにちょうど良い手技などあれば声をかけていただけますし、基本的に同時に一人しかその科をローテートしていないため、手技を奪い合うようなこともなかったと思います。そして、理不尽に残業の時間まで残されることも少なく、自身で日中に経

験したことを復習して咀嚼する時間が十分にあったことが良かった点だと感じました。

もう一つこの病院の特徴をあげると、地域医療振興協会に属しているため、他の地域医療病院との関連も強く、希望があれば積極的に外部の病院で研修する機会があることや、横須賀西地区と三浦地区の一地域医療病院としての立場を経験できたりということがあると思います。

またプログラムとしては主要な内科と腹部外科、精神科、小児科、産婦人科が必修でありましたが、そこで学んだことがとても大きく、将来それらの科に進まないのですが非常に有益であり役立つと確信しています。

二年間ご指導してくださった先生、ならびに関わってくださった方々ありがとうございました。

【2019年3月卒初期臨床研修Y】

2年間という短い初期研修期間の中で、プライマリーケアに対応できるだけの数多くの診療経験を得ることができたと感じております。その理由には、救急外来において初期研修医がファーストタッチできること、研修医の数が少ないため手技を独占できること、協力型病院が豊富であることから外部での研修を選択すれば貴重な臨床経験や教育の機会を得られることなどが挙げられると思います。

また上級医の先生方やコメディカルスタッフの方々からは優しく丁寧に指導いただき、就業時間や当直回数なども無理のない範囲内であり、職場環境の面でも恵まれた環境であったと感じております。

ぜひ一度見学に来られて、市民病院の雰囲気や研修の実際を見ていただくことをお勧めします。

【2019年3月卒初期臨床研修S】

横須賀市立市民病院で2年間研修させていただきました。研修病院としてのメリットを簡単に挙げます。

- ① 基本的に穏やかな病院であり自分のペースで研修できる。
- ② 手技について基本的に希望すればなんでも一通りやらせてもらえる
- ③ 福利厚生がしっかりしているので、セミナーへの参加が気軽にできる
- ④ 横浜市大、JADECOM 関連病院を2年目に研修できる
- ⑤ コメディカルに勤勉な方が多い

【2019年3月研修修了たすきがけ初期臨床研修医T】

横浜市立大学附属病院のたすき掛けで、横須賀市立市民病院で一年間を過ごしました。

横須賀市民病院での研修の利点は、一言で表すと、自由度がかなり高いところだと思います。中規模の病院であるため、少人数での研修に加えて、様々な科の先生方と接する機会が非常に多くみられま

す。また、研修医が目の当たりにする症例もそれなりに多く、本人の希望次第で手技もさせていただく機会が多かったように思います。

私は神奈川県出身でしたが、横須賀にはほとんど行く機会がなく、初めての土地での研修となりました。横須賀市民病院は最寄り駅が遠く不便な場所にありますが、その分良い意味で地域に根ざした医療を行っている病院だと思います。横浜市立大学附属病院の関連病院であるため、後々神奈川に残って働きたいと考えている人にもおすすめです。

一年間を通しての感想としては、やりたいことをやらせていただき、雑務にあまり追われることなく患者の病態や治療について考える時間も得ることができ、自分にとって充実した研修になりました。

ぜひとも、横須賀市民病院で研修することをおすすめします。一年間ありがとうございました。

【2019年3月研修修了たすきがけ初期臨床研修医K】

私は、横浜市大附属市民総合医療センターからのたすきがけ先として1年次のみ横須賀市立市民病院で研修させていただきました。

正直見学もしたことのない病院だったので、入職前や直後は不安でいっぱいでした。

いざ現場で働いてみると、国家試験をおえた後の状況でも予想通りわからないことがほとんどであり、ご迷惑をおかけすることも多かったと思います。そんななかでも上級医の先生方、コメディカルの方々は親切にしてくださり、仕事の合間にお話しさせていただいたり、飲み会などにも誘っていただき非常にあたたかい職場であると感じました。

研修は各科に1人の研修医がローテートする仕組みとなっており、指導医の先生と受け持ちの患者さんの状況や今後の方針を話し合っ一緒に治療をすすめていき、その都度やさしく丁寧に指導していただけるため非常に勉強になりました。また、受け持ちの患者さんでなくても手技や勉強になる症例があれば、ほかの先生方に呼んでいただけるため、その科をまわっている間のその科の症例を幅広く経験することができました。

当直ではその日の内科当番の先生と二人で行い、ほかの研修医はいないためその日の当直帯に受診したすべての患者さんのファーストタッチをさせていただきました。わからないことがあればその都度指導してくださります。入職時は何をすればいいのかわからず不安でいっぱいだった当直も、まだまだ未熟ではありますが少しはできるようになってきたかなと感じられるようになりました。

初期研修はわからないことが多く、皆さん不安な状態ではじまるものだと思います。職場の雰囲気がよく、わからないことがあったら優しく指導してくださり、自分でフィードバックすることができる自由度の高い研修をおくることができるという点で魅力的な病院だと思いました。少しでも研修病院を選択するうえで参考になれば幸いです。

一年間ありがとうございました。